

知ってほしい 養育家庭のこと

インタビュー 里親子の暮らし

2人の実子(当時高校生と中学生)を持ちつつ、2人の里子(当時小学生)を受託されたご夫婦と実子2人に伺いました。



里親になろうと思ったきっかけは

関係者との交流を経て

里父 当時、知り合いのかたから里子を育てているという話を聞き、里子との生活の様子を知る機会がありました。
里母 その後、養護施設の施設長などとの交流を経て、夫に「うちもやろうよ」と話を持ちかけました。

お子さん(実子)に里親について説明した時は どんな反応でしたか

里父 最初はいい意味で受け止めてくれましたが、わだかまりもいろいろありました。
里母 特に2人目の里子が来た時は、受験と重なり思っていた以上に大変でした。「あなたたちが大変だったら、受け入れをやめていいから」と伝えましたが、それでも「やめない」と答えてくれたので、諦めずに続けることができました。

大変だったことはありますか

言いたいことが言える関係を築くこと

里母 里子が自分の意見や考えをあまり言わないことです。長男が里子に、「お母さんは何回かお願いすると、意外とやってくれるよ。本当にしてほしいことがあったら、お願いしてみて」と言ってくれたことで、最近は自分の考えを言うよう頑張ってくれています。言いたいことを言える関係であってほしいですが、自分の将来を描く基盤が弱く、なかなか自分からやりたいと言えないのだと思います。
長女 コロナ禍でリモート授業を受けている時に、里子の声が入ってしまうことがありました。
長男 年が離れているので、最初の頃は歩み寄る努力をしていました。

楽しかったことや良かったと思うことを 教えてください

自分自身も成長でき、家族の仲も良くなつた

里父 生きがいや、やりがいを感じることです。最初は暗く不安定だった里子も、一緒に過ごすうちに明るい笑顔が増えて、日常生活が安定していきます。成長が早く、1年でこんなに変わるものかと思うほどです。妻の子育て能力を改めて見ることもできました。
里母 長女・長男の良い面が新たに発見できました。2人とも受験もある中でいろいろ大変だったと思いますが、文句も言わず立派に向き合ってくれて、すごいなと感心しました。
長男 年下の里子が来て、自分自身も成長できることが多かったです。人が増えたことで会話の量も増えて、家族の仲が良くなりました。

今後も、里子を新たに受け入れるとしたら、 どうですか

長男 両親の意向に合わせようと思っています。
長女 私も同じ意見です。



養育家庭になる要件

- ・都内在住で心身ともに健康な夫婦である
- ※配偶者がいないかたはお問い合わせください
- ・適切な居室の広さがある
- ・経済的に安定している

養育家庭になった後

- ・児童相談所など関係機関が継続してサポート
- ・養育費(子どもの生活費など)を支給
- ・養育家庭同士の交流会や研修制度あり



東京都里親制度普及啓発
キャラクター
「さとぺん・ファミリー」

養育家庭について知りたい、相談したいかたは

品川児童相談所フォースタリング機関(里親養育包括支援機関)
六踏園(☎3474-5442)にお問い合わせください。



東京都品川児童相談所
フォースタリング機関六踏園

養育家庭体験発表会(コード①)

時 10月26日(土) 14:00~16:00

場 総合庁舎本館1階E会議室

内 養育家庭の体験談、制度の紹介、個別相談。

希望者は当日会場へ



養育家庭(里親)・子ども虐待防止パネル展

時 11月25日(月) 14:00~11月29日(金) 16:00

場 総合庁舎本館1階西口ロビー



目黒区からの情報を発信中!

めぐろ区報
電子書籍版
(※)



区
ウェブ
サイト



区公式YouTube
チャンネル
めぐろTV



区公式X
(旧Twitter)



区LINE
公式



※めぐろ区報電子書籍版は、多言語でご覧になれます。Meguro City Newsletter e-book version is available in multiple languages.



環境にやさしい植物油インキを使用しています

R100

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。